

## (1)静岡市教育大綱の策定目的

静岡市教育大綱は、以下の2つの目的から策定するものである。

- ・本市の教育振興基本計画は、これまで市の教育大綱を兼ねるものと位置付けてきたが、「学校教育機関を中心とした取組の計画」となっていることから、国の教育振興基本計画に規定する「基本的な方針」を参酌し、「全世代」を対象に、「学術や文化」も含めた「総合的な施策」の根本となる方針を定める必要があること
- ・教育の普遍的使命は変わらないものの、社会や時代が大きく変化する中、目指す社会の姿についても、一人ひとりの幸福感を高めていくことや、予測できない未来に向けて持続可能な社会を創っていくことが重要視されている。このような背景のもと、今の時代に相応しい教育の理念、基本方針を定め、政策体系を構築していくことが必要であること

## (2)時代認識と教育の役割

地方公共団体の教育大綱を策定するにあたり、参酌することとされている国の教育振興基本計画では、時代認識と教育の役割を以下のようにまとめている。

- ・これまでも日本社会の課題として、少子高齢化と人口減少、グローバル化の進展と国際的な地位の低下、地球規模の課題、子供の貧困、格差の固定化、地域間格差、社会のつながりの希薄化などが挙げられてきた。
- ・更に、近年では、新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の不安定化、自然災害の頻発化・激甚化など、予測困難な課題が発生するとともに、デジタルトランスフォーメーションやAIが暮らしや社会に大きな変革をもたらす可能性があることが指摘されている。
- ・社会課題の中でも、人口減少は顕著であり、生産年齢人口である15～64歳の人口は、2050年には現在の3分の2に減少すると推計されており、将来にわたって社会保障などの社会制度を持続可能なものとしていくことや、現在の経済水準を維持すること、活力あふれる社会を実現することが危ぶまれる状況にある。
- ・このような中で、一人ひとりのウェルビーイングを実現していくためには、この社会を持続的に発展させていく必要があり、一人ひとりの生産性向上や、多様な人材の社会参画、社会課題の解決と経済成長を結び付けた新たなイノベーションの推進などが必要となる。
- ・これら社会の現状や変化を踏まえて社会を展望したとき、教育の果たす役割はますます大きくなっており、「人への投資」を通じて社会の持続的な発展を生み出す人材を育成することで、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現していく必要がある。

## (3)本市の教育大綱の基本理念案

本市の大綱策定の目的、及び国の計画を踏まえると、本市の教育大綱の基本理念は、「多種多様な学びを通じて、一人ひとりが心豊かで幸せを感じられる人生を送ることができるようにすること。」「多種多様な学びを通じて、社会が持続的に発展できるような人材を育成すること。」そのための本市の「ひとづくり」における最上位概念であるべきと考える。

そこで、本市の教育大綱の基本理念を次のとおりとしたい。

多種多様な学びを通じて、  
一人ひとりが心豊かで幸せを感じられる人生を送ることができるとともに、  
社会の持続的な発展に貢献できるようにするための「ひとづくり」